

日 時 令和5年11月28日（火）18時30分～19時30分

場 所 胆振総合振興局 3階 大会議室

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

議 題 1 公立病院経営強化プランについて
2 医療計画・地域推進方針・感染症予防計画の策定について

議 事

(1) 議題1 公立病院経営強化プランについて

ア 事務局等から資料に基づき説明

- ・資料1-1 事務局 澤田企画主幹
- ・資料1-2 市立室蘭総合病院 佐藤経営管理課長
- ・資料1-3 豊浦町国民健康保険病院 半澤主査

イ 質疑応答

大川原委員) 市立室蘭総合病院の15ページの経営強化プラン対象期間中の各年度収支計画に長期前受金戻入とあるが、減価償却とは違い、補助金で購入した資産を帳簿上で出したものと思われるが、2年目で上がっているのが1年で償却できるものがあったと思われるが、これはこういった機器とかデバイスか。

今野課長補佐) おっしゃるとおり、補助金を活用して購入した施設・備品等について、その後数年をかけて帳簿上、収益に計上しているものである。毎年度、各署に補助金を活用しているので、今、詳細の説明はできませんが、例えば、昨年度はコロナの補助金があり、そういったもので購入した補助金額については、数年に渡り収益に計上することとなっている。

大川原委員) コロナ補助金で購入したものということか。

今野課長補佐) 令和5年度から増加している部分はコロナ補助金の部分が多い。

大川原委員) 一般会計負担金、補助金について、令和7年にかけて微増しているが、補助金が増えると思われるその根拠は何か。

今野課長補佐) 総務省の基準に則った負担金の繰り入れを一般会計から行っているが、一般会計負担金、その下の一般会計補助金、その上の医業収益の欄にある一般会計負担金これすべてを合わせたものが、一般会計からの繰り入れとなっている。その内訳で救急医療の支出に伴う繰り入れ等決まっており、その内訳の中で多少の入れ替えはあるが、経費そのものは基本的に同様にみており、内訳が少し変更されているとうことでご理解いただきたい。

大川原委員) 減価償却について、建物については終了しているか。現行の建築物で大きい減価償却が残っているものは何か。普通はコンクリートの建物であれば、そろそろ建築移転後に償却が終わる頃ではないか。

今野課長補佐) 例えば、本院であれば、令和8年度に築35年経過となり、企業債の償還が終了する。そういった点では、下の欄の基本的収支の下から3行目、企業債償還金の部分になるが、こちらが本体建物の償還が終了して、令和9年度から負担が軽くなる。その他の医療機器・備品等もあり、ここでは大きく表れてこないが、建物については、さきほどの企業債償還金の部分で大きく負担が減っていく。

(2) 議題2 医療計画・地域推進方針・感染症予防計画の策定について

ア 事務局等から資料に基づき説明

- ・資料2-1 事務局 澤田企画主幹
- ・資料2-2～2-4 事務局 成澤健康推進課長

イ 質疑応答
なし

その他 地域医療構想アドバイザー（一般社団法人北海道医師会 笹本参与）からのコメント

これまで、数年間にわたり、コロナに対応いただいた医療機関、保健所の皆様大変ご苦勞様で、厚く感謝申し上げます。

この地域医療構想調整会議は、もともと地域構想のみを題材にしていたが、今では、地域医療構想に限らず、医師確保計画、外来医療計画、紹介重点医療機関やかかりつけ医などについても協議しなければならず、仕事が増えている。本当に野尻会長、大変お疲れ様ですが、今後ともよろしく願います。

また、いままで紹介した中で、今年頃から医療・介護職から他の業種への流出が非常に増えている。これまでは、医療従事者の確保が非常に重要だったが、医療従事者の確保そのものが難しい、不足する状況にあり、そのことを想定しながら考えていかなければならない時代に近づいている。その点も今後ご理解いただきたい。

最後になるが、経営強化プランの説明があったが、各医療機関においては、非常に苦勞されている中、経営強化プランを作成いただき、是非とも実行に移してもらいたい。人口減少、患者数減少が予想される中、医業収入を増やすことはなかなか大変だが、行政、近隣医療機関、近隣住民と話し合いを進めながら、作成していただきたい。